

2024年パリオリンピック・世界ローイング選手権日本代表選手選考方針

2024年パリオリンピック（2024年7月27日～8月4日、フランス・パリ、以下「パリ大会」といいます）、および、世界ローイング選手権（2024年8月18日～25日、カナダ・セントキャサリン）に出場する日本代表選手は、以下に示すとおり、5つのステップで構成される選考を経て決定します。なお、今後、世界ローイング連盟によるパリ大会予選システムに関する変更、世界情勢の変動等日本ローイング協会がコントロールできない事由が生じた場合には、必要かつ合理的な範囲で変更することがあります。

日本代表選手選考について

A. 選考方針

(1) 目標

パリ大会：既に出場権を獲得しているMixにおいてはメダル獲得、それ以外の種目においてはFinal B以上の進出を目標とします。

世界ローイング選手権：Final A進出を目標とします。

(2) 派遣対象種目

① パリ大会：-1) 2023年世界ローイング選手権において、既に出場権を獲得している男子シングルスカル。

-2) アジア・オセアニア大陸予選を通過し、日本ローイング協会がパリ大会日本代表と決定した種目。

-3) 世界最終予選を通過し、日本ローイング協会がパリ大会日本代表と決定した種目。

※表1「各予選競技会で付与されるパリ大会出場枠数（男女同数）」参照

② 世界ローイング選手権：男女軽量級のそれぞれシングルスカル、クオドルプル

表 1. 各予選競技会で付与されるパリ大会出場枠数（男女同数）

種目	① 世界選手権	②大陸別予選				③ 世界最終 予選	合計 (クル-数)
		アジア オセアニア	アフリカ	アメリカ	ヨーロッパ		
1x	9	5	5	5	3	2	29
2-	11					2	13
2x	11					2	13
4-	7					2	9
4x	7					2	9
8+	5					2	7
L2x	7	2	1	2	2	2	16
Host Country Places(1x)							1
Universality Places(1x)							2
合計	57	7	6	7	5	14	99

(3) ナショナルチーム編成

2024年2月のシニアナショナルチーム選考レース (Small Boat Selection (SBS)) で選考された選手はシニアナショナルチームメンバー (A・B・C代表)として認定されます。パリ大会ならびに2024年シニア世界ローイング選手権及びアジア選手権、欧州等インターナショナルレガッタ等へ派遣するクルーは、SBSの順位、合宿及び国際大会における評価レースの結果等により決定します。

各選手はSBSのエントリー時に、スカル/スウィープ、スカルを選択した場合には軽量級/オープンを選択します。シニアナショナルチームメンバーに選ばれた後は、原則として、選択したカテゴリーの種目に出場することになります。ただし、派遣種目の関係上、軽量級の選手がオープンに出場する可能性があるほか、スウィープで選ばれた選手が、何かしらの理由によりペアが解散した場合にスカル種目に出場するなど、特段の事情があり、選考における公平性を害しない場合には派遣カテゴリーを変更することがあります。

(4) 評価

個人及びクルーの評価に関しては、競漕条件（風、波、流れ）を考慮し、Ideal Timeに対する割合（%IDT）を用います。

B. 選考ステップ

(1) 選考スケジュール

2024年シニアナショナルチーム選考のステップは以下の流れとなります。

- ① 2023年12月16日（土）から24日（日）の間に測定した2000mエルゴの記録提出（〆切：2023年12月25日（月））
- ② 2024年1月27日（土）から2月4日（日）の間に測定した2000mエルゴの記録提出（〆切：2024年2月5日（月））
- ③ 2024年2月15日（木）シニアナショナルチーム選考レース予選タイムトライアル
- ④ 2024年2月26日（月）～28日（水）シニアナショナルチーム選考レース（SBS）
- ⑤ 2024年3月5日（火）～6日（水）強化合宿での評価レース
予備日：2024年3月12日（火）、13日（水）
- ⑥ 2024年4月以降 世界選手権に向けた強化合宿での評価レース

(2) 2000mエルゴ記録の報告について

①2023年12月16日（土）から24日（日）までの間及び②2024年1月27日（土）から2月4日（日）までの間に、2000mエルゴタイムトライアルを各団体・個人で行ってください。それぞれ指定日（2023年12月25日（月）及び2024年2月5日（月））までに、その記録及び体重を証明する写真を添付し、所定のフォーマットで提出（送信）してください。また、体重はエルゴ測定の2時間～1時間前の体重を0.1 kg単位で測定してください。①及び②の両方の提出が必要です。

エルゴ記録（提出された12月と2月の2回のエルゴ記録のうち、良い方を採用します。）を体重別%IDTに変換した値のクルー平均が高いクルー（スカル（オープンスカル及び軽量級スカル）から、男女シニアカテゴリーにおいてそれぞれ20クルーを、オープンペアから、男女シニアカテゴリーにおいてそれぞれ20クルー）は、下記選考ステップ（3）（シニアナショナルチーム選考レース予選タイムトライアル）に参加することが出来ます。

記録提出時に必ず「身長」及び「体重」、「スウィープもしくはスカルの種別」を記載するようお願いいたします。なお、軽量級の体重制限は12月のエルゴ測定時は男子75.0 kg以下、女子61.5 kg以下、2月のエルゴ測定時は男子73.5kg以下、女子60.0kg以下とします。

また、U23カテゴリーからもシニアカテゴリーと同数のクルーを（3）に進出させる予定です。

【注意】エルゴ記録のデータ提出方法、SBS予選への参加基準及びSBS予選申込方法等に関してお知らせしている「JARA発番第2023-250号・2023年11月27日付・2024年シニアナショナルチーム、U23ナショナルチーム選手選考に関わる2000mエルゴタイムトライアル」についても併せて熟読願います。

(3) シニアナショナルチーム選考レース予選タイムトライアルについて

シニアナショナルチーム選考レース予選タイムトライアルは、以下の概要で実施します。

日 程：2024年2月15日（木）

場 所：戸田ボートコース

選考方式：2000mタイムトライアルレースを2回実施し、2回のタイムの平均でランキングを作成し、オープン・軽量級の区別なく、スカルから男女それぞれシニア・U23カテゴリー合わせて最大36名、オープンペアから男女それぞれシニア・U23カテゴリー合わせて最大24クルーを選抜します。なお、当タイムトライアルレースは、オープン・軽量級の区別なく実施します。各カテゴリーの選考人数はIdeal Time (表) に対する割合 (%IDT) を用いて決定します。

参加資格：上記(2)に基づき選出されたクルー。なお、予選タイムトライアル当日の軽量級の体重制限は男子72.5kg、女子59.0kg以下とします(レース2時間前～1時間前に計量します)。

(4) シニアナショナルチーム選考レース (SBS) について

シニアナショナルチーム選考レース (SBS) は、以下の概要で実施します。

日 程：2024年2月26日(月) から28日(水)まで

場 所：戸田ボートコース

選考方式：2000mレース (World RowingプログレッションシステムWorld Cup方式)

種 目：男女シングルスカル及び男女オープンペア。

* レースごとのコンディションの差を極力小さくする目的で、当選考レースはオープン・軽量級のカテゴリー分けを行わずに実施しますが、オープンと軽量級に分けた結果も公表します。

選考方法：シニアナショナルチーム選考レースの順位により、2024年シニアナショナルチームメンバーを決定します。男女オープンシングルスカル、男女オープンペア及び男女軽量級シングルスカルの各カテゴリーの選考人数は、それぞれのゴールタイムを%IDTに変換し、そのランキングを用いて決定します。シニアナショナルチーム全体の選考人数は、強化委員会が目標と照らし合わせ総合的に判断します。なお、軽量級の体重制限は男子72.5kg、女子59.0kg以下とします(レース2時間前～1時間前に計量します)。

(5) オリンピック日本代表選手決定について

上記B-(4)のシニアナショナルチーム選考レース (SBS) においてシニアナショナルチームメンバーになった選手(ただし、M1x及びW1xの選手は除きます)は、その後に行われる評価レースによりクルーを決定し、アジア・オセアニア大陸予選および世界最終予選への派遣クルーを決定します。但し、評価レースの結果等を踏まえ、クルーが、オリンピック出場権を獲得することがおよそ不可能な状態であると判断した場合には、派遣を見送る可能性があります。評価レースの詳細(評価基準を含む。)については決定次第、通知いたします。

① SBS、評価レースにおける各種目の考え方

各カテゴリーのクルーは、SBSならびに2024年3月5日(火)及び6日(水)(予備日：3月12日(火)、13日(水))に実施する評価レースで決定します。

-1) オープン男子シングルスカル (M1x)

SBSの男子シングルスカルの最上位者をパリ大会日本代表として内定し、関係団体への推薦等の調整を図ります。但し、メダルポテンシャルアスリートである荒川龍太選手が疾病や弔事等やむにやまれぬ事由への対応等でSBSに出場できなかった場合は2024年ワールドカップ第1戦又は第2戦でSBS男子シングルスカル最上位者との評価を行い、パリ大会男子シングルスカル日本代表を決定します。

なお、SBS男子シングルスカルの最上位者が軽量級カテゴリー選手であった場合はB-(5)-①-2) 軽量級男子ダブルスカルの決定フローに参加するかについては所属団体、対象選手と協議します。

-2) 軽量級男女ダブルスカル (LM2x、LW2x)

SBSにおける上位者最大4名が、いずれも高いレベルにあって拮抗している場合には、その時点で試すべきと強化委員会が合理的に判断する組み合わせでダブルスカルを編成し、評価レース(編成の組替え等で複数回に及ぶ場合がある。)を実施します。評価レースの順位、タイム、%IDT等を総合的に勘案し、アジア・オセアニア大陸予選への派遣クルーを決定します。

各選手の体重設定は、男子71.2kg以下、女子58kg以下とし、レース当日に体重計測を行います。

-3) オープン女子シングルスカル (W1x)

SBSの女子シングルスカルの最上位者をアジア・オセアニア大陸予選に派遣します。

但し、SBSの女子シングルスカルの最上位者が軽量級の選手であった場合で、最上位者を含む軽量級ダブルスカルのアジア・オセアニア大陸予選への派遣が決定したときは、当該軽量級ダブルスカルの2名を除いた最上位者をアジア・オセアニア大陸予選にシングルスカルで派遣します。

-4) オープン男女ダブルスカル (M2x、W2x)

世界最終予選については、SBSの男女オープンシングルスカルの上位者最大4名（パリ大会男子シングルスカル日本代表を除く。）がいずれも高いレベルにあって拮抗している場合には、その時点で試すべきと強化委員会が合理的に判断する組み合わせでダブルスカルを編成し、評価レース（編成の組替え等で複数回に及ぶ場合があります。）を実施します。評価レースの順位、タイム、%IDT等を総合的に勘案し、オープン男女ダブルスカルでの世界最終予選への派遣クルー及び派遣の可否を決定します。なお、評価基準は、評価を行う前に提示します。

-5) オープン男女スイープ種目 (M2-, M4-, W2-, W4-)

SBSにおける男女オープンペアの最上位クルーの世界最終予選への派遣の可否を総合的に判断し決定します。

但し、SBSにおける1位と2位が、いずれも高いレベルにあって拮抗している場合には、1位と2位のクルーでフォアを編成し評価レースを実施します。SBSの順位、レースタイム、%IDT、評価レースのタイム等を総合的に勘案し、オープン男女フォアでの世界最終予選への派遣の可否を決定します。

また、男女ペアがそれぞれ3クルー以上、いずれも高いレベルにあって拮抗している場合は、複数のスイープ種目での世界最終予選への派遣の可否を決定します。

なお、評価基準は、評価を行う前に提示します。

② アジア・オセアニア大陸予選における考え方

アジア・オセアニア大陸予選の開催種目は男女軽量級ダブルスカル、男女シングルスカルの4種目のみですが、すでに男子シングルスカル種目は出場国枠を獲得しているため、男女軽量級ダブルスカル、女子シングルスカルの3種目が派遣の検討対象となります。

1つの出場権を獲得しているため、アジア・オセアニア大陸予選で獲得できる出場権は、原則として、1種目であり、例外的に、2種目で1位となった場合には、当該クルーに出場権が与えられるため、想定されるパターンは以下のとおりです。

● 1位になった種目が1種目のみの場合及び1位となった種目が2種目の場合、当該位となった種目が出場権を獲得します。

● 1位になった種目が3種目の場合、日本ローイング協会が2種目を選択し、出場権の獲得種目を確定します。

● 1位となった種目がない場合には、最上位の順位を獲得した種目が出場権を獲得します。

● 複数種目が同順位となった場合、アジア・オセアニア大陸予選決勝におけるレースの%IDTを用いて決定します。

なお、レースコンディションに差があったと判断した場合については、日本帰国後ただちに決定レースを行います。

また、アジア・オセアニア大陸予選においていずれかの種目の1位となったが、パリオリンピックの参加権利を獲得できなかった場合は、そのクルーを当該種目で世界最終予選に派遣します。世界最終予選通過クルーについては、予選を通過した段階で、パリオリンピック日本代表クルーに決定します。

(6) 世界ローイング選手権日本代表選手決定について

世界ローイング選手権日本代表については、上記B-(4)及びB-(5)で選考されなかったクルーのうち、合宿中に行われる世界ローイング選手権派遣評価レースにおいてA-(1)の目標が達成できる見込みがあると評価されたクルーが派遣されます。

(7) 合宿及び国際大会における評価レースと最終決定スケジュール

2024年シニア世界ローイング選手権及びアジア選手権への派遣クルーは、シニアナショナルチーム選考レース（SBS）の結果並びに2024年4月以降の合宿及び国際大会で評価を行い、決定します。2024年4月以降の評価レースの詳細は追って発表いたします。

C. その他

(1) 疾病や吊事等やむにやまれぬ事由への対応について

日本代表候補選考プロセスや合宿で高いパフォーマンスを示したと強化委員会が認めた選手が疾病や吊事等やむにやまれぬ事由によりシニアナショナルチーム選考レース（SBS）や評価レースに出漕できなかった場合は、強化委員会の判断により、次のステップに進める可能性があります（強化委員会の指示に従い、診断書等当該事由を証明する書面の提出が必要となります。）。

(2) 心電図検査結果の提出について

World Rowingの競漕規則に従い、各カテゴリー世界選手権選考会参加者は、心電図検査結果の提出が必要となります。なお、所定の期間以内（23歳未満は3年以内、23歳以上は5年以内）に心電図結果を提出したことがある選手はその提出が免除されます。

(3) メダルポテンシャルアスリート制度の適用プログラムに基づき、以下の通り取り扱います。

MPA認定選手：やむにやまれぬ事由により、シニアナショナルチーム選考レース予選タイムトライアルに欠場した場合、シニアナショナルチーム選考レース（SBS）への出場を認めます。また、やむにやまれぬ事由により、シニアナショナルチーム選考レース（SBS）に欠場した場合は、上記B-(5)①-1)のとおり、ワールドカップ第1戦又は第2戦にて、SBS男子シングルスカルの最上位者との評価を行い、以降の合宿およびパリ大会参加可否を判断します。

PA認定選手：やむにやまれぬ事由により、シニアナショナルチーム選考レース予選タイムトライアルに欠場した場合、シニアナショナルチーム選考レース（SBS）への出場を認めます。

(4) 2024年シーズンのIDTについて

2024年シーズンのIdeal Time（IDT）は、2022年11月24（金）発表の「2024 Ideal Times Table（After TOKYO2020）」となります。

→[https://www.jara.or.jp/kyoka/current/IDT%202024\(AfterTOKYO2020\).pdf](https://www.jara.or.jp/kyoka/current/IDT%202024(AfterTOKYO2020).pdf)

以 上